

1 この科目の構成について

教科	公民	科目	公共	単位	2	単位
対象コース	一貫・進学・総合	コース	対象クラス	2	年	理系 組
使用教科書	「私たちの公共」清水書院					
使用副教材	「私たちの公共ワークノート」清水書院、 「クローズアップ公共2023」第一学習社					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や合意形成や社会参画を入れながら構想したことを議論する力を養う ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う
学習内容：この科目で学習する大まかな内容 ・倫理や政治経済について、幅広く学習します。現代社会を生き抜くための基本的な知識に加え、社会の一員として必要な考え方や他者との協力方法について考察できるようになってほしいと思います。
学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 予習を前提に授業を行います。授業はスライドと板書を併用して実施します。必要に応じて、メモを取りながら授業を受けて下さい。必要なプリントは印刷して配布します。 (2) 家庭 予習してください。教科書を読み、準拠ワークや配布してあるプリントの穴埋めを確実に行ってきて下さい。

3 この科目の評価方法について

評価の観点：何を使って評価するのか (1) 知識・技能 ①定期考査：年5回の定期考査 ②授業への取り組み：授業中の積極的な発言や授業に参加する姿勢 ③提出物；ノート、プリント、レポートの内容や提出状況 (2) 思考・判断・表現 ①定期考査：年5回の定期考査 ②授業への取り組み：授業中の積極的な発言や授業に参加する姿勢 ③提出物；ノート、プリント、レポートの内容や提出状況 (3) 主体的に学習に取り組む態度 ①授業への取り組み：授業中の積極的な発言や授業に参加する姿勢 ②提出物；ノート、プリント、レポートの内容や提出状況

4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	第一部 公共の扉 第1章 社会で生きるとのこと 1 私たちと青年期 2 私たちと社会 3 人間の社会と文化 zoom あっぶ① 世界の宗教 zoom あっぶ② 日本の思想  	青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を理解する。自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 世界の宗教や日本の思想等、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れることを通じて、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができる存在であることについて理解する。	○	◎	○	
	5	第2章 みんなが幸せな社会とは？ 1 よく生きるとは？ 徳 zoom あっぶ③ 世界の思想 2 幸福な社会とは？ 功利主義 3 幸福な社会とは？ 正義の原理 Activity 1 生命と科学技術の問題と倫理 Activity 2 環境問題と人間の活動 資料室 地球環境問題  	行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを通して、人間としての在り方生き方について考えることがよりよく生きる上で重要であることを理解する。 生命倫理や環境倫理の問題を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方を踏まえ、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	◎	○	
	6	第3章 公共的な空間における基本原理 1 個人の尊重と社会 2 民主主義、立憲主義 3 法はなぜ必要なのか Activity 3 社会のルールについて考えよう！ How to 公共 1 「候補者男女均等法」の是非について「平等」の視点から考察する 	人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理について理解する。 「新型コロナウイルス問題」「候補者男女均等法」を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、公共的な空間における基本原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、構想できるようにする。	○	◎	○	
	7	第2部 よりよい社会の形成と参画 第1章 私たちの生活と法 1 個人と法 Activity 4 消費者の権利と義務 CHECKBox 01 日本国憲法の成立と基本原理 資料室 日本国憲法 2 平等に生きる権利 3 自由に生きる権利 4 人間らしく生きる権利 資料室 日本国憲法の人権保障 5 新しい人権 zoom あっぶ④ 個人情報の保護と情報リテラシー  	具体的な事例を通して、法や規範の意義及び役割について理解する。 日本国憲法と大日本帝国憲法との比較から相違点を考える。また日本国憲法の三大原則を理解する。 「消費者の権利と義務」について、具体的事例を通して、多様な契約の存在や、契約の意義やリスクについて多面的・多角的に考察、表現できるようにする。 具体的な事例を通して、日本国憲法の基本的な権利のうち、平等権と自由権について理解する。 具体的な事例を通して、日本国憲法の基本的な権利のうち、自由権と社会権の違いについて理解する。 日本国憲法の基本的な権利のうち、「新しい人権」について理解する。また、個人情報保護に係わって、資料を読み取って、情報モラルと情報リテラシーを高めることの重要性を理解する。	○	◎	○	
	8	01 日本国憲法の成立と基本原理 資料室 日本国憲法 2 平等に生きる権利 3 自由に生きる権利 4 人間らしく生きる権利 資料室 日本国憲法の人権保障 5 新しい人権 zoom あっぶ④ 個人情報の保護と情報リテラシー  	具体的な事例を通して、日本国憲法の基本的な権利のうち、自由権と社会権の違いについて理解する。 日本国憲法の基本的な権利のうち、「新しい人権」について理解する。また、個人情報保護に係わって、資料を読み取って、情報モラルと情報リテラシーを高めることの重要性を理解する。	◎	◎	○	
2							

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
	9	第2章 私たちの生活と政治 1 日本の統治機構 zoom あっぶ⑤ 世界の統治機構 2 国会のしくみとはたらき 3 内閣のしくみとはたらき 4 行政機関としての国の役割と体制 5 裁判所のしくみとはたらき 6 紛争解決のしくみ Activity 5 模擬裁判をやってみよう！	日本の統治機構と世界の統治機構と比較し、私たちの権利や自由を守るためにどのように組織されているのか理解する。	○	○	○	
	10	7 地方自治の役割と現状 zoom あっぶ⑥ 世界の選挙事情 8 選挙のしくみ 9 政党と政治参加 10 民主政治の原理と世論 Activity 6 地域の課題を解決する取り組み	国会のしくみと働きについて理解する。	◎	○	○	
			内閣のしくみと働きについて理解する。	◎	○	○	
			日本の行政機関の特徴と行政権の拡大の問題点について理解する。	◎	○	○	
			裁判所のしくみと働きについて理解する。また、司法権の独立の意義について考える。	◎	◎	○	
			刑事裁判と民事裁判の違いについて理解する。また、紛争解決の様々なしくみについて理解する。	◎	○	○	
			「模擬裁判」を事例に、裁判や法律家が果たす役割、適正な手続き、証拠や論拠に基づき公平・公正に判断することについて多面的・多角的に考察、表現できるようにする。	◎	◎	○	
			地方自治のしくみと意義や選挙のしくみと課題について理解する。	◎	○	○	
			民主政治において世論が果たす役割と課題について理解する。	◎	○	○	
			「模擬請願」を事例に、現在住んでいる自治体が抱える課題について適切に情報を収集し、読み取って、課題の解決の在り方について考察、構想する。	◎	◎	○	
	11	第3章 平和主義と日本 1 日本の平和主義と憲法 Activity 7 平和を守ろう！ 2 日本の外交と平和な社会の構築 Activity 8 世界平和について考えてみよう！ How to 公共2 「憲法改正」の是非について、幸福、平等、公正の視点から考えよう	具体的な事例を通して、我が国の安全保障に自衛隊の果たしてきた役割を理解するとともに、日本の安全保障の在り方について考察、構想する。	◎	◎	○	
			日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について理解する。	◎	○	○	
			「領土問題」を事例に、現在日本が抱えている「領土問題」の経緯に関する情報を収集し、読み取って、「領土問題」の解決の在り方について考察、構想する。	◎	◎	○	
			「憲法改正」を事例に、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用して、憲法改正の在り方について考察、構想する。	◎	◎	○	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
3	12	第4章 私たちの生活と経済 1 私たちの生活と経済活動 2 市場経済のしくみ 価格を決める要因 zoom あっぶ⑦ 経済思想と経済体制 Activity 9 市場経済の機能と限界 3 企業の経済的役割 Activity 10 職業選択／キャリア教育 CHECKBox 02 日本経済の進展① CHECKBox 03 日本経済の進展② 4 国民所得と私たちの生活 5 政府の経済的な役割  	市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念について理解する。 「市場経済の機能と限界」を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察し、表現する。 企業の役割とはたらきについて理解する。 「職業選択」を事例に、社会の急激な変化や、それに対応する社会的な起業の意義とともに、働くことの意義について考察、表現する。 戦後の日本の経済の発展の歴史について理解する。 GDPやGNIなど国の経済をはかる「ものさし」について理解する。 財政と租税のしくみと機能について理解する。	◎	○	○	
	1	6 税金と国債を考える 7 金融機関の役割 Activity 11 金融のはたらき 8 労働と雇用 よりよいはたらき方をめざして Activity 12 雇用と労働 9 社会保障制度の意義 Activity 13 財政・租税の役割／社会保障 zoom あっぶ⑧ よりよい経済社会をめざして   	「金融の働き」を事例に、金融のしくみと役割や、新たな金融の形態について考察、表現する。 日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化について理解する。 「雇用と労働」を事例に、労働者の権利や労働契約を巡る法規制の形態について考察、表現する。 社会保障制度の歴史的経過を把握し、制度の内容と課題について理解する。 「財政・租税の役割/社会保障」を事例に、日本の社会保障や財政に係わる資料等を読み取って、循環可能な社会保障制度の在り方について、考察、構想する。	◎	◎	○	
	2	第5章 私たちの生活と国際社会 1 国際社会と国際法 2 国際連合と国際機関 CHECKBox 04 国際社会の動向と日本 3 平和な国際社会をめざす 4 グローバル化する社会 Activity 14 経済のグローバル化と相互依存 5 発展途上国の経済成長と地域的な経済統合 6 持続可能な国際社会 Activity 15 国際社会で貢献しよう！ How to 公共3 水をめぐる問題 SDGs を参考として、日本の立場（個人・国家）でどのような解決策を考えられるだろう  	国際社会における国家主権の意味と、国際関係を規律する国際法の意義及びその発達について理解する。 国際連合と国際機関の意義と役割について理解する。 第二次世界大戦後、世界の体制はどのような展開をしたのかを理解する。また、その歴史の中で、核拡散防止の現状と核軍縮に向けた取り組みについて理解する。 自由貿易と保護貿易の違いを理解するとともに、自由貿易が拡大した背景やその影響（「相互依存」等）について、為替レートや国際収支と関連付けながら理解する。 「経済のグローバル化と相互依存」を事例に、グローバル化の進展が及ぼす影響と社会の変化について、考察し、表現する。 先進国と発展途上国との経済格差の問題とリージョナリズムが引き起こす意義と課題について理解する。	◎	○	○	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	の内容	知	思	主	○△×
			「国際社会で貢献しよう」を事例に、SDGsの概念を理解するとともに、ODA大綱等の資料を読み取り、日本が国際社会で果たすべき役割について考察し、構想する。 「水をめぐる問題」を事例に、諸資料を読み取り、論点を踏まえて、「水」を巡る国際的な問題に対して、どのような取り組みが求められるのか、考察し、構想する。		◎	◎	
3		第3部 持続可能な社会を創る ① 中高生の会社起業 耕作放棄地の活用 ② 情報社会と私たちの生活 ③ 望ましいエネルギーとは ④ すべての人が輝く社会 ⑤ 持続可能な開発目標にもとづく援助 課題探究のスキル  10 人や国の不平等をなくそう  11 住み続けられるまちづくりを  16 平和と公正をすべての人に  17 パートナリシップで目標を達成しよう	「地域の創造」を事例に、主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述する。 「よりよい国家・社会の構築」を事例に、主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述する。 「平和で安定した国際社会の形成」を事例に、主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述する。	○	◎	◎	
				○	◎	◎	

1 この科目の構成について

教科	公民	科目	公共	単位	2	単位
対象コース	総合（情報クラス） 美術	コース	対象クラス	2 年	7, 8 組	
使用教科書	「私たちの公共」清水書院					
使用副教材	「私たちの公共ワークノート」清水書院、 「クローズアップ公共2023」第一学習社					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や合意形成や社会参画を入れながら構想したことを議論する力を養う ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う
学習内容：この科目で学習する大まかな内容 ・倫理や政治経済について、幅広く学習します。現代社会を生き抜くための基本的な知識に加え、社会の一員として必要な考え方や他者との協力方法について考察できるようになってほしいと思います。
学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 予習を前提に授業を行います。授業はスライドと板書を併用して実施します。必要に応じて、メモを取りながら授業を受けて下さい。必要なプリントは印刷して配布します。 (2) 家庭 予習してください。教科書を読み、準拠ワークや配布してあるプリントの穴埋めを確実に行ってきて下さい。

3 この科目の評価方法について

評価の観点：何を使って評価するのか (1) 知識・技能 ①定期考査：年5回の定期考査 ②授業への取り組み：授業中の積極的な発言や授業に参加する姿勢 ③提出物；ノート、プリント、レポートの内容や提出状況 (2) 思考・判断・表現 ①定期考査：年5回の定期考査 ②授業への取り組み：授業中の積極的な発言や授業に参加する姿勢 ③提出物；ノート、プリント、レポートの内容や提出状況 (3) 主体的に学習に取り組む態度 ①授業への取り組み：授業中の積極的な発言や授業に参加する姿勢 ②提出物；ノート、プリント、レポートの内容や提出状況

4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	第一部 公共の扉 第1章 社会で生きるとのこと 1 私たちと青年期 2 私たちと社会 3 人間の社会と文化 zoom あっぷ① 世界の宗教 zoom あっぷ② 日本の思想  	青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を理解する。自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 世界の宗教や日本の思想等、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れることを通じて、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができる存在であることについて理解する。	○	◎	○	
	5	第2章 みんなが幸せな社会とは？ 1 よく生きるとは？ 徳 zoom あっぷ③ 世界の思想 2 幸福な社会とは？ 功利主義 3 幸福な社会とは？ 正義の原理 Activity 1 生命と科学技術の問題と倫理 Activity 2 環境問題と人間の活動 資料室 地球環境問題  	行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを通して、人間としての在り方生き方について考えることがよりよく生きる上で重要であることを理解する。 生命倫理や環境倫理の問題を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方を踏まえ、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	◎	○	
	6	第3章 公共的な空間における基本原理 1 個人の尊重と社会 2 民主主義、立憲主義 3 法はなぜ必要なのか Activity 3 社会のルールについて考えよう！ How to 公共 1 「候補者男女均等法」の是非について「平等」の視点から考察する 	人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 「新型コロナウイルス問題」「候補者男女均等法」を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、公共的な空間における基本的原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、構想できるようにする。	○	◎	○	
	7	第2部 よりよい社会の形成と参画 第1章 私たちの生活と法 1 個人と法 Activity 4 消費者の権利と義務 CHECKBox 01 日本国憲法の成立と基本原理 資料室 日本国憲法 2 平等に生きる権利 3 自由に生きる権利 4 人間らしく生きる権利 資料室 日本国憲法の人権保障 5 新しい人権 zoom あっぷ④ 個人情報の保護と情報リテラシー  	具体的な事例を通して、法や規範の意義及び役割について理解する。 日本国憲法と大日本帝国憲法との比較から相違点を考える。また日本国憲法の三大原則を理解する。 「消費者の権利と義務」について、具体的事例を通して、多様な契約の存在や、契約の意義やリスクについて多面的・多角的に考察、表現できるようにする。 具体的な事例を通して、日本国憲法の基本的な権利のうち、平等権と自由権について理解する。 具体的な事例を通して、日本国憲法の基本的な権利のうち、自由権と社会権の違いについて理解する。 日本国憲法の基本的な権利のうち、「新しい人権」について理解する。また、個人情報保護に係わって、資料を読み取って、情報モラルと情報リテラシーを高めることの重要性を理解する。	○	◎	○	
	8			◎	◎	○	
				◎	◎	○	
2				◎	◎	○	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
	9	第2章 私たちの生活と政治 1 日本の統治機構 zoom あつぷ⑤ 世界の統治機構 2 国会のしくみとはたらき 3 内閣のしくみとはたらき 4 行政機関としての国の役割と体制 5 裁判所のしくみとはたらき 6 紛争解決のしくみ Activity 5 模擬裁判をやってみよう！	日本の統治機構と世界の統治機構と比較し、私たちの権利や自由を守るためにどのように組織されているのか理解する。	○	○	○	
	10	7 地方自治の役割と現状 zoom あつぷ⑥ 世界の選挙事情 8 選挙のしくみ 9 政党と政治参加 10 民主政治の原理と世論 Activity 6 地域の課題を解決する取り組み	国会のしくみと働きについて理解する。	◎	○	○	
			内閣のしくみと働きについて理解する。	◎	○	○	
			日本の行政機関の特徴と行政権の拡大の問題点について理解する。	◎	○	○	
			裁判所のしくみと働きについて理解する。また、司法権の独立の意義について考える。	◎	◎	○	
			刑事裁判と民事裁判の違いについて理解する。また、紛争解決の様々なしくみについて理解する。	◎	○	○	
			「模擬裁判」を事例に、裁判や法律家が果たす役割、適正な手続き、証拠や論拠に基づき公平・公正に判断することについて多面的・多角的に考察、表現できるようにする。	◎	◎	○	
							
			地方自治のしくみと意義や選挙のしくみと課題について理解する。	◎	○	○	
			民主政治において世論が果たす役割と課題について理解する。	◎	○	○	
			「模擬請願」を事例に、現在住んでいる自治体が抱える課題について適切に情報を収集し、読み取って、課題の解決の在り方について考察、構想する。	◎	◎	○	
	11	第3章 平和主義と日本 1 日本の平和主義と憲法 Activity 7 平和を守ろう！ 2 日本の外交と平和な社会の構築 Activity 8 世界平和について考えてみよう！ How to 公共2 「憲法改正」の是非について、幸福、平等、公正の視点から考えよう	具体的な事例を通して、我が国の安全保障に自衛隊の果たしてきた役割を理解するとともに、日本の安全保障の在り方について考察、構想する。	◎	◎	○	
			日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について理解する。	◎	○	○	
			「領土問題」を事例に、現在日本が抱えている「領土問題」の経緯に関する情報を収集し、読み取って、「領土問題」の解決の在り方について考察、構想する。	◎	◎	○	
			「憲法改正」を事例に、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方等を活用して、憲法改正の在り方について考察、構想する。	◎	◎	○	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
3	12	第4章 私たちの生活と経済 1 私たちの生活と経済活動 2 市場経済のしくみ 価格を決める要因 zoom あつぷ⑦ 経済思想と経済体制 Activity 9 市場経済の機能と限界 3 企業の経済的役割 Activity 10 職業選択／キャリア教育 CHECKBox 02 日本経済の進展① CHECKBox 03 日本経済の進展② 4 国民所得と私たちの生活 5 政府の経済的な役割  	市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念について理解する。 「市場経済の機能と限界」を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察し、表現する。 企業の役割とはたらきについて理解する。 「職業選択」を事例に、社会の急激な変化や、それに対応する社会的な起業の意義とともに、働くことの意義について考察、表現する。 戦後の日本の経済の発展の歴史について理解する。 GDPやGNIなど国の経済をはかる「ものさし」について理解する。 財政と租税のしくみと機能について理解する。	◎	○	○	
	1	6 税金と国債を考える 7 金融機関の役割 Activity 11 金融のはたらき 8 労働と雇用 よりよいはたらき方をめざして Activity 12 雇用と労働 9 社会保障制度の意義 Activity 13 財政・租税の役割／社会保障 zoom あつぷ⑧ よりよい経済社会をめざして   	「金融の働き」を事例に、金融のしくみと役割や、新たな金融の形態について考察、表現する。 日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化について理解する。 「雇用と労働」を事例に、労働者の権利や労働契約を巡る法規制の形態について考察、表現する。 社会保障制度の歴史的経過を把握し、制度の内容と課題について理解する。 「財政・租税の役割/社会保障」を事例に、日本の社会保障や財政に係わる資料等を読み取って、循環可能な社会保障制度の在り方について、考察、構想する。	◎	◎	○	
	2	第5章 私たちの生活と国際社会 1 国際社会と国際法 2 国際連合と国際機関 CHECKBox 04 国際社会の動向と日本 3 平和な国際社会をめざす 4 グローバル化する社会 Activity 14 経済のグローバル化と相互依存 5 発展途上国の経済成長と地域的な経済統合 6 持続可能な国際社会 Activity 15 国際社会で貢献しよう！ How to 公共3 水をめぐる問題 SDGs を参考として、日本の立場（個人・国家）でどのような解決策を考えられるだろう  	国際社会における国家主権の意味と、国際関係を規律する国際法の意義及びその発達について理解する。 国際連合と国際機関の意義と役割について理解する。 第二次世界大戦後、世界の体制はどのような展開をしたのかを理解する。また、その歴史の中で、核拡散防止の現状と核軍縮に向けた取り組みについて理解する。 自由貿易と保護貿易の違いを理解するとともに、自由貿易が拡大した背景やその影響（「相互依存」等）について、為替レートや国際収支と関連付けながら理解する。 「経済のグローバル化と相互依存」を事例に、グローバル化の進展が及ぼす影響と社会の変化について、考察し、表現する。 先進国と発展途上国との経済格差の問題とリージョナリズムが引き起こす意義と課題について理解する。	◎	○	○	

1 この科目の構成について

教科	公民	科目	公共、政治・経済	単位	4	単位
対象コース	一貫・進学・総合 (文系)	コース	対象クラス	2 年	1, 2, 3, 4 組	
使用教科書	「私たちの公共」清水書院、「高等学校政治・経済」清水書院					
使用副教材	「ニューコンパスノート政治・経済2023」とうほう 「最新政治・経済資料集」第一学習社					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や合意形成や社会参画を入れながら構想したことを議論する力を養う ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う
学習内容：この科目で学習する大まかな内容 ・倫理や政治経済について、幅広く学習します。現代社会を生き抜くための基本的な知識に加え、社会の一員として必要な考え方や他者との協力方法について考察できるようになってほしいと思います。
学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 予習を前提に授業を行います。授業はスライドと板書を併用して実施します。必要に応じて、メモを取りながら授業を受けて下さい。必要なプリントは印刷して配布します。 (2) 家庭 予習してください。教科書を読み、準拠ワークや配布してあるプリントの穴埋めを確実に行ってきて下さい。

3 この科目の評価方法について

評価の観点：何を使って評価するのか (1) 知識・技能 ①定期考査：年5回の定期考査 ②授業への取り組み：授業中の積極的な発言や授業に参加する姿勢 ③提出物；ノート、プリント、レポートの内容や提出状況 (2) 思考・判断・表現 ①定期考査：年5回の定期考査 ②授業への取り組み：授業中の積極的な発言や授業に参加する姿勢 ③提出物；ノート、プリント、レポートの内容や提出状況 (3) 主体的に学習に取り組む態度 ①授業への取り組み：授業中の積極的な発言や授業に参加する姿勢 ②提出物；ノート、プリント、レポートの内容や提出状況

4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	第一部 公共の扉 第1章 社会で生きるということ 1 私たちと青年期 2 私たちと社会 3 人間の社会と文化 zoom あっぶ① 世界の宗教 zoom あっぶ② 日本の思想  	青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を理解する。自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 世界の宗教や日本の思想等、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れることを通じて、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができる存在であることについて理解する。	○	◎	○	
	5	第2章 みんなが幸せな社会とは？ 1 よく生きるとは？ 徳 zoom あっぶ③ 世界の思想 2 幸福な社会とは？ 功利主義 3 幸福な社会とは？ 正義の原理 Activity 1 生命と科学技術の問題と倫理 Activity 2 環境問題と人間の活動 資料室 地球環境問題  	行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを通して、人間としての在り方生き方について考えることがよりよく生きる上で重要であることを理解する。 生命倫理や環境倫理の問題を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方を踏まえ、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	◎	○	
	6	第3章 公共的な空間における基本原理 1 個人の尊重と社会 2 民主主義、立憲主義 3 法はなぜ必要なのか Activity 3 社会のルールについて考えよう！ How to 公共 1 「候補者男女均等法」の是非について「平等」の視点から考察する 	人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理について理解する。 「新型コロナウイルス問題」「候補者男女均等法」を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、公共的な空間における基本原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、構想できるようにする。	○	◎	○	
2	7	第2部 よりよい社会の形成と参画 第1章 私たちの生活と法 1 個人と法 Activity 4 消費者の権利と義務 CHECKBox 01 日本国憲法の成立と基本原理 資料室 日本国憲法 2 平等に生きる権利 3 自由に生きる権利 4 人間らしく生きる権利 資料室 日本国憲法の人権保障 5 新しい人権 zoom あっぶ④ 個人情報の保護と情報リテラシー 	具体的な事例を通して、法や規範の意義及び役割について理解する。 日本国憲法と大日本帝国憲法との比較から相違点を考える。また日本国憲法の三大原則を理解する。	○	◎	○	
	8	01 日本国憲法の成立と基本原理 資料室 日本国憲法 2 平等に生きる権利 3 自由に生きる権利 4 人間らしく生きる権利 資料室 日本国憲法の人権保障 5 新しい人権 zoom あっぶ④ 個人情報の保護と情報リテラシー  	「消費者の権利と義務」について、具体的事例を通して、多様な契約の存在や、契約の意義やリスクについて多面的・多角的に考察、表現できるようにする。 具体的な事例を通して、日本国憲法の基本的な権利のうち、平等権と自由権について理解する。 具体的な事例を通して、日本国憲法の基本的な権利のうち、自由権と社会権の違いについて理解する。 日本国憲法の基本的な権利のうち、「新しい人権」について理解する。また、個人情報保護に係わって、資料を読み取って、情報モラルと情報リテラシーを高めることの重要性を理解する。	◎	◎	○	
				◎	◎	○	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
	9	第2章 私たちの生活と政治 1 日本の統治機構 zoom あっぶ⑤ 世界の統治機構 2 国会のしくみとはたらき 3 内閣のしくみとはたらき 4 行政機関としての国の役割と体制 5 裁判所のしくみとはたらき 6 紛争解決のしくみ Activity 5 模擬裁判をやってみよう！	日本の統治機構と世界の統治機構と比較し、私たちの権利や自由を守るためにどのように組織されているのか理解する。	○	○	○	
	10	7 地方自治の役割と現状 zoom あっぶ⑥ 世界の選挙事情 8 選挙のしくみ 9 政党と政治参加 10 民主政治の原理と世論 Activity 6 地域の課題を解決する取り組み	国会のしくみと働きについて理解する。	◎	○	○	
			内閣のしくみと働きについて理解する。	◎	○	○	
			日本の行政機関の特徴と行政権の拡大の問題点について理解する。	◎	○	○	
			裁判所のしくみと働きについて理解する。また、司法権の独立の意義について考える。	◎	◎	○	
			刑事裁判と民事裁判の違いについて理解する。また、紛争解決の様々なしくみについて理解する。	◎	○	○	
		 	「模擬裁判」を事例に、裁判や法律家が果たす役割、適正な手続き、証拠や論拠に基づき公平・公正に判断することについて多面的・多角的に考察、表現できるようにする。	◎	◎	○	
			地方自治のしくみと意義や選挙のしくみと課題について理解する。	◎	○	○	
			民主政治において世論が果たす役割と課題について理解する。	◎	○	○	
			「模擬請願」を事例に、現在住んでいる自治体が抱える課題について適切に情報を収集し、読み取って、課題の解決の在り方について考察、構想する。	◎	◎	○	
	11	第3章 平和主義と日本 1 日本の平和主義と憲法 Activity 7 平和を守ろう！ 2 日本の外交と平和な社会の構築 Activity 8 世界平和について考えてみよう！ How to 公共2 「憲法改正」の是非について、幸福、平等、公正の視点から考えよう	具体的な事例を通して、我が国の安全保障に自衛隊の果たしてきた役割を理解するとともに、日本の安全保障の在り方について考察、構想する。	◎	◎	○	
		 	日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について理解する。	◎	○	○	
			「領土問題」を事例に、現在日本が抱えている「領土問題」の経緯に関する情報を収集し、読み取って、「領土問題」の解決の在り方について考察、構想する。	◎	◎	○	
			「憲法改正」を事例に、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方等を活用して、憲法改正の在り方について考察、構想する。	◎	◎	○	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
3	12	第4章 私たちの生活と経済 1 私たちの生活と経済活動 2 市場経済のしくみ 価格を決める要因 zoom あつぷ⑦ 経済思想と経済体制 Activity 9 市場経済の機能と限界 3 企業の経済的役割 Activity 10 職業選択／キャリア教育 CHECKBox 02 日本経済の進展① CHECKBox 03 日本経済の進展② 4 国民所得と私たちの生活 5 政府の経済的な役割  	市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念について理解する。 「市場経済の機能と限界」を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察し、表現する。 企業の役割とはたらきについて理解する。 「職業選択」を事例に、社会の急激な変化や、それに対応する社会的な起業の意義とともに、働くことの意義について考察、表現する。 戦後の日本の経済の発展の歴史について理解する。 GDPやGNIなど国の経済をはかる「ものさし」について理解する。 財政と租税のしくみと機能について理解する。	◎	○	○	
	1	6 税金と国債を考える 7 金融機関の役割 Activity 11 金融のはたらき 8 労働と雇用 よりよいはたらき方をめざして Activity 12 雇用と労働 9 社会保障制度の意義 Activity 13 財政・租税の役割／社会保障 zoom あつぷ⑧ よりよい経済社会をめざして   	「金融の働き」を事例に、金融のしくみと役割や、新たな金融の形態について考察、表現する。 日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化について理解する。 「雇用と労働」を事例に、労働者の権利や労働契約を巡る法規制の形態について考察、表現する。 社会保障制度の歴史的経過を把握し、制度の内容と課題について理解する。 「財政・租税の役割/社会保障」を事例に、日本の社会保障や財政に係わる資料等を読み取って、循環可能な社会保障制度の在り方について、考察、構想する。	◎	◎	○	
	2	第5章 私たちの生活と国際社会 1 国際社会と国際法 2 国際連合と国際機関 CHECKBox 04 国際社会の動向と日本 3 平和な国際社会をめざす 4 グローバル化する社会 Activity 14 経済のグローバル化と相互依存 5 発展途上国の経済成長と地域的な経済統合 6 持続可能な国際社会 Activity 15 国際社会で貢献しよう！ How to 公共3 水をめぐる問題 SDGs を参考として、日本の立場（個人・国家）でどのような解決策を考えられるだろう  	国際社会における国家主権の意味と、国際関係を規律する国際法の意義及びその発達について理解する。 国際連合と国際機関の意義と役割について理解する。 第二次世界大戦後、世界の体制はどのような展開をしたのかを理解する。また、その歴史の中で、核拡散防止の現状と核軍縮に向けた取り組みについて理解する。 自由貿易と保護貿易の違いを理解するとともに、自由貿易が拡大した背景やその影響（「相互依存」等）について、為替レートや国際収支と関連付けながら理解する。 「経済のグローバル化と相互依存」を事例に、グローバル化の進展が及ぼす影響と社会の変化について、考察し、表現する。 先進国と発展途上国との経済格差の問題とリージョナリズムが引き起こす意義と課題について理解する。	◎	○	○	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	の内容	知	思	主	○△×
			「国際社会で貢献しよう」を事例に，SDGsの概念を理解するとともに，ODA大綱等の資料を読み取り，日本が国際社会で果たすべき役割について考察し，構想する。 「水をめぐる問題」を事例に，諸資料を読み取り，論点を踏まえて，「水」を巡る国際的な問題に対して，どのような取り組みが求められるのか，考察し，構想する。		◎	◎	
3		第3部 持続可能な社会を創る ① 中高生の会社起業 耕作放棄地の活用 ② 情報社会と私たちの生活 ③ 望ましいエネルギーとは ④ すべての人が輝く社会 ⑤ 持続可能な開発目標にもとづく援助 課題探究のスキル    	「地域の創造」を事例に，主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述する。 「よりよい国家・社会の構築」を事例に，主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述する。 「平和で安定した国際社会の形成」を事例に，主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述する。	○	◎	◎	
				○	◎	◎	
				○	◎	◎	

1 この科目の構成について

教科	地理歴史科	科目	地理探究	単位	3 単位
対象コース	一貫、進学、総合理系	コース	対象クラス	2 年	1, 2, 3組理系, 5, 6組
使用教科書	新詳地理B（帝国書院）新詳高等地図（帝国書院）				
使用副教材	サクシード地理（啓隆社）、地理の点数が面白いほどとれる本（角川）				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

2年生では、具体的に地図、地理情報、地域調査、地形、気候、環境問題、農業、林業、水産業について学びます。これらの学びを通して、以下のことを身につけて下さい。

- （1） 地図、地理情報、地域調査の学習を通して、地図の活用法、地域や世界の諸事象を理解する力や課題の発見力を身に付けて下さい。
- （2） 地形や気候の学習を通して、自然と人間の関わりを理解し、各地域の人間生活の基盤を形成しているものへの理解を深めて下さい。
- （3） 日本の自然や環境問題の学習を通して、自然災害を理解するとともに防災意識を高め、環境問題に対する関心を高めて下さい。
- （4） 世界や日本の農林水産業の学習を通して、自然と農林水産業の関わりを理解するだけでなく、食糧問題にも関心を深めて下さい。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

- （1） 地理情報の活用方法、世界観の変化、地球上の位置、時差、世界図の図法・種類、一般図と主題図、地域調査について学習します。
- （2） 地形の種類・成因・分布、陸水と海洋、大気大循環、雨温図とハイサーグラフ、世界の気候区分・植生・土壌について学習します。
- （3） 日本の地形・気候、自然災害と防災、オゾン層の破壊・地球温暖化・森林破壊・砂漠化・酸性雨等の環境問題について学習します。
- （4） 世界の農業地域区分、自給的農業・商業的農業・企業的農業の種類、世界の林業・水産業、日本の農林水産業について学習します。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

（1）学校

- （1） 地理情報の活用方法、世界観の変化、地球上の位置、時差、世界図の図法・種類、一般図と主題図、地域調査について学習します。
- （2） 地形の種類・成因・分布、陸水と海洋、大気大循環、雨温図とハイサーグラフ、世界の気候区分・植生・土壌について学習します。
- （3） 日本の地形・気候、自然災害と防災、オゾン層の破壊・地球温暖化・森林破壊・砂漠化・酸性雨等の環境問題について学習します。
- （4） 世界の農業地域区分、自給的農業・商業的農業・企業的農業の種類、世界の林業・水産業、日本の農林水産業について学習します。さまざまな考えを深めるようにしましょう。

（2）家庭

- ① 復習は必要です。授業で理解できなかった用語や内容はその日のうちに教科書などで確認しておきましょう。
- ② 新聞やテレビのニュースを必ず見ましょう。問題を解く際に力強い味方になります。常識で解ける問題もあるのです。
- ③ 模試の見直しの際、模範解答の解説書を熟読し、「正解の根拠・地図や統計読解のテクニック」を理解し覚えましょう。

3 この科目の評価方法について

評価方法：何を使って評価するのか

- （1） 定期考査→年5回の定期考査は、授業の学習内容から出題します。
- （2） 夏休み・冬休みの課題→予習・復習用の課題です。休み明けに、課題内容の確認テストを行います。
- （3） 地図読解・主題図の作業→地形図を用いての読図演習、統計資料を用いての分布図作成を行います。
- （4） 授業プリント・サクシード地理の点検→授業プリントやサクシード地理の記入内容を点検し、授業に対する取組度を確認します。

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：何を使って評価するのか

（1）知識・技能

- ① 定期考査：年5回の定期考査。
- ② 授業への取り組み：指名されたときの発表内容など。
- ③ 提出物：振り返りシートや課題プリント、テスト直しの内容など。

（2）思考・判断・表現

- ① 定期考査：年5回の定期考査。
- ② 授業への取り組み：指名されたときの発表内容など。
- ③ 提出物：サクシード地理や振り返りシートの内容など。

（3）主体的に学習に取り組む態度

- ① 授業への取り組み：授業態度や指名されたときの発表内容など。対話型の授業のため、積極的に協同作業をしているかどうか。
- ② 提出物：サクシード地理、課題プリントやテスト直しの内容など。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか			CHECK			
学期	月	学習の項目	学習の内容	思	技主	
1	4	はじめに 第1部 さまざまな地図と地理的技能 第1章 地理情報と地図 第1節 地図の発達 1. 現代の地図 2. 世界観の変化と地図 第2節 地図の種類とその利用 1. 地球上の位置 2. 時差の求め方 技能1 時差の計算 3. 地球儀とさまざまな地図 第3節 地理情報の地図化 1. 地理情報とは何か 2. 一般図と主題図 3. いろいろな統計地図 技能2 統計地図の読み方とつくり方 第2章 地図の活用と地域調査 第1節 地図の活用 1. 地形図の利用 2. 地形図のデジタル化 技能3 空中写真の利用 技能4 地形図の利用—地図記号 第2節 身近な地域の調査 1. 調査テーマの設定 2. 課題の調査 3. 調査結果のまとめと発表 第II部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 第1節 世界の地形 1. 地形の成因 (1) 内的営力と外的営力 2. 地球規模の大地形 (1) 大地形の分布 (2) プレート運動と様々な境界 (3) 火山と地震の活動 (4) 造山帯と安定陸塊 3. 河川と海岸の小地形 (1) 小地形の形成と河川地形 技能5 写真の見方—地形— (2) 海岸に見られる小地形 4. そのほかの特徴的な地形 (1) 氷河地形 (2) 乾燥地形 (3) 石灰岩の溶食地形 技能6 地形図の利用—等高線 技能7 地形図の利用—地形断面図	○ 地理学を学ぶ意味・地理学の構成等を学びます。 ○ リモートセンシング・GNSS・GIS等を学びます。 ○ プトレマイオスの世界地図・TOMAP等を学びます。 ○ 経度・緯度・本初子午線・地球の大きさ等を学びます。 ○ GMT・日付変更線・標準時・サマータイム等を学びます ○ 時差の計算を行います。 ○ 正角図法（メルカトル図法・等角航路等）等を学びます。 ○ 正方位図法（正距方位図法・大圏航路等）等を学びます。 ○ 正積図法（サンソン図法・モルワイデ図法等）等を学びます。 ○ 地理情報とは何かを学びます。 ○ 地理情報・一般図・主題図・地形図・統計地図等を学びます。 ○ 絶対分布図（ドットマップ・図形表現図等）を学びます。 ○ 相対分布図（階級区分図等）を学びます。 ○ カルトグラム・メッシュマップ等を学びます。 ○ 統計地図の作成を行います。 ■ 第1回定期考査 ○ 地形図・実測図・UTM図法・編集図等を学びます。 ○ 電子国土基本図・電子地形図25000等を学びます。 ○ 空中写真とは・空中写真の実体視等を学びます。 ○ 縮尺・三角点・水準点・図式・地図記号等について学びます。  ○ 地域調査の手順等を学びます。 ○ 野外調査・予備調査・文献調査等を学びます。 ○ 聞き取り調査・観察調査・一次資料・補充調査等を学びます。 ○ ポスター・レポート・プレゼンテーション等を学びます。 ○ 地殻変動・内的営力・外的営力・風化・浸食等を学びます。 ○ 大地形・大陸・大洋・平野・山脈等を学びます。 ○ 大陸棚・深海平原・海嶺・海溝などを学びます。 ○ ウェゲナー・大陸移動説・プレートテクトニクス等を学びます。 ○ 狭まる境界・広がる境界・ずれる境界等を学びます。 ○ 海洋プレート・大陸プレート・褶曲山脈・島弧等を学びます。 ○ サンアンドレアス断層・北アナトリア断層等を学びます。 ○ マグマ・溶岩台地・カルデラ・火山灰・火砕流等を学びます。 ○ 地熱発電・ニュージーランド・アイスランド等を学びます。 ○ 地震・活断層・海溝型地震・津波・直下型地震等を学びます。 ○ 造山帯・造山運動・新期造山帯・古期造山帯等を学びます。 ○ アルプス＝ヒマラヤ造山帯・環太平洋造山帯等を学びます。 ○ 安定陸塊・卓状地・ケスタ・構造平野等を学びます。 ○ 楯状地・準平原・デーヴィス・侵食輪廻等を学びます。 ○ 沖積平野・小地形等を学びます。 ○ V字谷・谷底平野・扇状地・水無川・天井川等を学びます。 ○ 三角州・三日月湖・自然堤防・氾濫源・縄文海進等を学びます。 ○ 台地・丘陵・河岸段丘等を学びます。 ○ 自然を撮影した写真から、地形や土地利用を読み取ります。 ■ 第2回定期考査 ○ 砂浜海岸・干潟・砂嘴・砂州・陸繋島・潟湖等を学びます。 ○ 離水海岸・海岸平野・海岸段丘等を学びます。 ○ サンゴ礁・裾礁・堡礁・環礁・地球温暖化等を学びます。 ○ 沈水海岸・三角江・リアス海岸・フィヨルド等を学びます。 ○ 山岳氷河・大陸氷河・南極大陸・グリーンランド等を学びます。 ○ U字谷・カール・モレーン・氷河湖等を学びます。 ○ 氷期・間氷期・最終氷期等を学びます。 ○ 砂漠・岩石砂漠・礫砂漠・メサ・ビュート等を学びます。 ○ レス・偏西風・黄砂・ホワンツ高原等を学びます。 ○ 外来河川・オアシス・内陸河川・ワジ等を学びます。 ○ カルスト地形・秋吉台・平尾台・鍾乳洞等を学びます。 ○ ドリーネ・ウバーレ・ポリエ・タワーカルスト等を学びます。 ○ 計曲線・主曲線・補助曲線・尾根・谷等を学びます。 ○ 地形断面図を作成します。 ○ 地形図で土地利用を判別します。 ○ 気象・気候・気候因子・気候要素等を学びます。 ○ 日較差・年較差・海洋性気候・大陸性気候等を学びます。 ○ 気温の減滅率・地形性降雨・湿潤・乾燥等を学びます	●	●	●
				●	●	
5				●	●	
6				●	●	

7	技能8 地形図の利用—土地利用	○ 熱帯収束帯・亜熱帯高圧帯・亜寒帯低圧帯等を学びます。 ○ 貿易風・偏西風・極偏東風・恒常風等を学びます。 ○ 季節風・ジェット気流・雨季・乾季等を学びます。 ○ 熱帯低気圧・台風・サイクロン・ハリケーン等を学びます。 ○ 陸水・氷河・地下水等を学びます。 ○ 被圧地下水・自由地下水・宙水等を学びます。 ○ 表層流・暖流・寒流・海洋の大循環・海岸砂漠等を学びます。 ○ 西岸気候・東岸気候等を学びます。 ○ ケッペン・植生・仮想大陸等を学びます。 ○ ケッペンの気候区分の気候記号・判定方法を学びます。 ○ 雨温図とハイサーグラフを作成して、読み方を学びます。 ○ 自然や人々の生活を撮影した写真から、気候を読み取ります。				
	第2節 世界の気候 1. 気候の成り立ち (1) 気温と降水 (2) 大気大循環と風 (3) 陸水と海洋 2. 世界の気候区分 (1) ケッペンの気候区分 技能9 気候区分の判定 技能10 雨温図・ハイサーグラフ 技能11 写真の見方—気候					
		 				
年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか			CHECK			
学期	月	学習の項目	学習の内容	思	技主	
2	8	(2) 熱帯の自然と生活 ① 熱帯雨林気候 ② 熱帯モンスーン気候 ③ サバナ気候 (3) 乾燥帯の自然と生活 ① 砂漠気候 ② ステップ気候 (4) 温帯の自然と生活 ① 地中海性気候 ② 温暖冬季少雨気候 ③ 温暖湿潤気候 ④ 西岸海洋性気候 (5) 亜寒帯・寒帯の自然と生活 ① 亜寒帯湿潤気候 ② 亜寒帯冬季少雨気候 ③ ツンドラ気候 ④ 氷雪気候 (6) 高地に見られる気候 3. 気候と植生・土壌 4. 変化する気候 第3節 日本の自然と人々の生活 1. 日本の地形 2. 日本の気候 3. 開発に伴う災害と防災 第4節 環境問題 1. 世界の環境問題 2. さまざまな環境問題 (1) オゾン層破壊 (2) 地球温暖化による影響 (3) 森林破壊 (4) 進行する砂漠化 (5) 大気汚染と酸性雨 3. 日本の環境問題 第2章 資源と産業 第1節 世界の農林水産業 1. 農業の発達と分布 2. 農業の地域区分 (1) 各地に見られる伝統的農業 ① 遊牧 ② 焼畑農業	■ 第3回定期考査 ○ 年中高温多雨・スコール・ラトソル・焼畑農業等を学びます。 ○ 年中高温・弱い乾季・モンスーン等を学びます。 ○ 雨季・乾季・サバナ・レグール・テラローシャ等を学びます。 ○ リャノ・カンボ・グランチャコ等を学びます。 ○ 年降水量250mm未満・オアシス・塩性土壌等を学びます。 ○ 年降水量250～700mm・ステップ・サヘル等を学びます。 ○ チェルノーゼム・プレーリー土・栗色土等を学びます。 ○ 夏高温乾燥・テラロッサ・硬葉樹・柑橘類等について学びます。 ○ 夏に多雨・冬に少雨・二期作・常緑広葉樹等について学びます。 ○ 四季の変化明瞭・梅雨前線・褐色森林土・混合林等を学びます。 ○ 夏冷涼で冬温暖・北大西洋海流・偏西風・フナ等を学びます。 ○ 冬に積雪・タイガ・ポドゾル・春小麦・酪農等を学びます。 ○ 冬に少雨・シベリア高気圧・永久凍土・林業等を学びます。 ○ 地衣類・イヌイット・サーミ・トナカイの遊牧等を学びます。 ○ 南極大陸・グリーンランド・大陸氷河等を学びます。 ○ 高山気候・アンデス山脈・高山都市・スラム等を学びます。 ○ アルパカ・リャマ・ボンチョ・ヤク等を学びます。 ○ 土壌・成帯土壌・間帯土壌等を学びます。 ○ 温暖化・寒冷化・小氷期・異常気象等を学びます。 ○ エルニーニョ現象・ラニーニャ現象等を学びます。 ○ 都市気候・ヒートアイランド現象等を学びます。 ○ 弧状列島・火山帯・火山フロント・活断層等を学びます。 ○ フォッサマグナ・糸魚川静岡構造線・中央構造線等を学びます。 ○ フェーン現象・梅雨前線・台風・やませ・冷害等を学びます。 ○ 土石流・土砂災害・局地的大雨・集中豪雨等を学びます。 ○ 都市型災害・液状化現象・地下調節池等を学びます。 ■ 第4回定期考査 ○ 大気汚染・公害・リサイクル・国連環境計画等を学びます。 ○ オゾン層・オゾンホール・紫外線の増加等を学びます。 ○ ウィーン条約・モントリオール議定書等を学びます。 ○ 温室効果ガス・化石燃料・二酸化炭素等を学びます。 ○ 海面上昇・モルディブ・京都議定書等を学びます。 ○ 生物多様性・マングローブ林・えびの養殖池等を学びます。 ○ アグロフォレストリー・地球サミット等を学びます。 ○ サヘル・過伐採・過耕作・過放牧・NGO等を学びます。 ○ 光化学スモッグ・越境大気汚染・PM2.5等を学びます。 ○ 長距離越境大気汚染防止条約等を学びます。 ○ 水俣病・第二水俣病・イタイイタイ病等を学びます。 ○ 四大公害病・公害対策基本法・環境基本法等を学びます。 ○ 環境庁・環境省・省エネルギー・リサイクル等を学びます。 ○ 自然条件・社会条件・灌漑・栽培限界等を学びます。 ○ 自給的農業・商業的農業・企業的農業・産業革命等を学びます。 ○ 土地生産性・労働生産性・ホイットルセイ等を学びます。 ○ 北地帯の農業・畜産・漁業・林業等を学びます。	●	●	●
	9			●	●	
	10			●	●	

11	12	② 焼畑農業 ③ 粗放的定住農業 ④ 集約的稲作農業 ⑤ 集約的畑作農業 (2) 欧州で発達した商業的農業 ① 混合農業 ② 酪農 ③ 園芸農業 ④ 地中海式農業	○ 北極海沿岸のトナカイ・ナベツト高原のヤク等を学びます。 ○ 中央アジアのラクダや羊・モンゴル高原の馬等を学びます。 ○ キャッサバ・タロイモ・ヤムイモ・バナナ等を学びます。 ○ 東南アジアと東アジアの沖積平野・棚田等を学びます。 ○ 中国北東部のこうりゃん・デカン高原の綿花等を学びます。 ○ 輪作・休閑・二圃式農業・三圃式農業等を学びます。 ○ 穀物・根菜類・飼料作物・家畜飼育等を学びます。 ○ 冷涼な気候・やせた土地・移牧・冷凍船の発明等を学びます。 ○ 近郊農業・輸送園芸・スマートアグリ等を学びます。 ○ 柑橘類・オリーブ・コルクがし・羊や山羊の飼育等を学びます。 ○ アメリカ合衆国南西部・チリ中部等を学びます。					
		     						
		年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか						
学期	月	学習の項目	学習の内容	思	技	主	○△×	
3	1	(3) 新大陸で発達した企業の農業 ① 企業の穀物・畑作農業 ② 企業の牧畜 ③ プランテーション農業 3. 現代世界の農業の現状と課題 技能 1 2 図形表現図の読み取り方	○ 適地適作・プレーリーからグレートプレーンズ等を学びます。 ○ 湿潤パンパ・ウクライナからロシア南部・端境期等を学びます。 ○ グレートプレーンズ・カンボ・乾燥パンパ等を学びます。 ○ フィードロット・トレーサビリティ等を学びます。 ○ 商品作物・単一耕作・アグリビジネス等を学びます。 ○ 緑の革命・有機農業・遺伝子組み換え作物等を学びます。 ○ 穀物メジャー・フードシステム・WTO等を学びます。 ○ 家畜の飼育頭数の図形表現図の読み取りを行います。	●	●	●		
	2	4. 世界の林業・水産業 5. 日本の農林水産業 第2節 食料問題 2. 発展途上国の食料問題 3. 先進国の食料問題 4. 日本の食料問題	■ 第5回定期考査 ○ 熱帯林・温帯林・亜寒帯林・用材・薪炭材等を学びます。 ○ 木材の伐採量・木材の輸出入量・木材の輸入量等を学びます。 ○ 大陸棚・バンク・潮目等を学びます。 ○ 世界のおもな漁場・水域別の漁獲量・アンチョビ等を学びます。 ○ 養殖業・栽培漁業・内水面漁業・主要国の漁獲量等を学びます。 ○ 主業農家・準主業農家・減反・銘柄米等を学びます。 ○ 国産材・輸入材・人工林の荒廃等を学びます。 ○ 沿岸漁業・沖合漁業・遠洋漁業・水産物輸入国等を学びます。 ○ 食料不足・飢餓・1日1人あたりカロリー摂取量等を学びます。 ○ 人口増加・紛争などによる難民・フェアトレード等を学びます。 ○ 食品ロス等を学びます。 ○ 食料自給率の低下・食育・地産地消・食の安全等を学びます。	●	●	●		
	3	     						

1 この科目の構成について

教科	地理歴史科	科目	日本史探究	単位	3 単位
対象コース	一貫・進学・総合・美術 コース		対象クラス	2 年	1～4組文系 7～9組
使用教科書	日本史探究『詳説日本史』（山川出版社）				
使用副教材	二高の日本史（本校教材）、最新日本史図表（第一学習社）				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

- ①原始・古代史は、日本の歴史が主に中国・朝鮮との政治的・文化的関係を通して形成されてきたことを学びます。
- ②中世史・近世史は、平安末期に誕生した在地領主制が、やがて集権的な織豊政権・徳川政権（幕藩領主制）へと変化していったことを学びます。
- ③近代史は、後発資本主義国としての日本が歩んだ歴史を、対外戦争や議会政治、産業革命などと関連させて学びます。
- ④現代史は、戦後の冷戦下で、アメリカの国際的な戦略のなかに位置づけられた日本の歴史を、政党政治や国民の民主化運動、高度経済成長などを中心に学びます。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

- 1) 授業用テキストに歴史用語を書き込み、頻出重要文章に正確にマーカーや書き込みをすることが必要です。
- 2) その授業で説明された歴史用語や頻出重要文章を確実に理解するとともに、授業の流れを把握することも必要です。
- 3) 大学共通テストだけでなく、難関私立大学で出題されるレベルの語句にも触れるため、重要語句の整理と深い理解が必要です。

(2) 家庭

- 1) 予習として授業用テキストを読み、頻出重要語句にマーカーをする。
- 2) 授業で教わった内容の復習を欠かさず行う（授業用テキストを見直す。教科書へのマークなど）
- 3) 考査前等に出される課題をしっかりと取り組み、提出する。

3 この科目の評価方法について

評価の観点：何を使って評価するのか

(1) 知識・技能

- ①定期考査：年5回の定期考査。
- ②授業への取り組み：授業態度や指名されたときの発言内容など。
- ③提出物：振り返りシートや小テストの内容など

(2) 思考・判断・表現

- ①定期考査：年5回の定期考査。
- ②授業への取り組み：授業態度や指名されたときの発言内容など。
- ③提出物：振り返りシートや小テストの内容など

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- ①授業への取り組み：授業態度や指名されたときの発言内容など。
- ②提出物：振り返りシートや小テストの内容など。

4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり	①人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 ②打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、竪穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく。	○	○	○	
		 		○	○	○	
		2 農耕社会の成立	①大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。 ②集落・墓の変容から富の蓄積を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連づけて考察する。 ③原始社会の特色についての考察を踏まえ、時代を通観する問いを表現する。	○	○	○	
		第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開	①地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。 ②ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 ③古墳時代後期から終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。	○	○	○	
			【第1回考查】				
	5	2 飛鳥の朝廷	①ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。	○	○	○	
		第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道	①律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。 ②律令にもとづく国内統治体制について理解する。	○	○	○	
		2 平城京の時代	①律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。 ②平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察する。	○	○	○	
		3 律令国家の文化	①律令国家の成立期に当たる白鳳文化の形成過程について考察する。 ②天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。	○	○	○	
			【第2回考查】				
	6	4 律令国家の変容	①平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。 ②東アジアとの関係を踏まえて、唐風文化である弘仁・貞観文化を理解する。	○	○	○	

		第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治	①藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。 ②日本と東アジアとの関係において、民間の貿易や交流が中心となったことをとらえる。	○	○	○	
	7	2 国風文化	①大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として、国風文化が展開されたことを理解する。 ②摂関政治の在り方と文化の展開に、どのような関係があるかを考察する。	○	○	○	
		3 地方政治の展開と武士	①律令制にもとづく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。 ②地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について、源氏などを例にとって考察する。	○	○	○	
年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか							CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
		第Ⅱ部 中世 第5章 院政と武士の躍進 1 院政の始まり	①院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ②外戚関係や人材登用など、後三条天皇が摂関家に遠慮せず改革を進めた背景を考察する。	○	○	○	
		2 院政と平氏政権	①政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。 ②古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	○	○	○	
		第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立	①鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 ②鎌倉幕府の成立時期をめぐる諸説に関して、それぞれの根拠を明確にして考察する。	○	○	○	
		2 武士の社会	①承久の乱にともなう公武関係の変化に着目して、将軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。 ②武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察する。	○	○	○	
		3 モンゴル襲来と幕府の衰退	①モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。 ②非御家人に対する権限拡大など、幕府勢力が西国に浸透したことの意義を考察する。	○	○	○	
2	8	4 鎌倉文化	①庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。 ②伝統的な公家文化の世界で、有職故実・古典研究などの学問が進展した背景を考察する。	○	○	○	
【第3回考査】							

		第7章 武家社会の成長					
	9	1 室町幕府の成立	①南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ②琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。	○	○	○	
		2 幕府の衰退と庶民の台頭	①庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 ②諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。	○	○	○	
		3 室町文化	①武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化および、大陸文化と伝統文化の関わりについて理解する。 ②諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。	○	○	○	
	10	4 戦国大名の登場	①応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。	○	○	○	
年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				CHECK			
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
		第Ⅲ部 近世					
		第8章					
	11	近世の幕開け					
		1 織豊政権	①大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 ②織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。	○	○	○	
		2 桃山文化	①新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。	○	○	○	
		第9章					
		幕藩体制の成立と展開					
		1 幕藩体制の成立	①江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。 ②江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではないことを理解し、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。	○	○	○	
		2 幕藩社会の構造	①幕藩体制の確立期の経済・社会を、兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。 ②被支配身分の特質や、周縁部分に生きる人々の社会的役割について理解する。	○	○	○	
		3 幕政の安定	①17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 ②諸藩における政治の安定化や刷新について、その特色を理解する。	○	○	○	
【第4回考査】							

3	12	4 経済の発展	①幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。 ②全国市場の確立や都市の発達で商品流通が拡大し、各地で風土に応じた特産物が生まれたことを理解する。	○	○	○
		5 元禄文化	①経済の発展と関連して町人文化が形成されたことについて、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関	○	○	○
		 	②儒学 ^{まがしな} の特色を理解し、その発達が他の学問に与えた影響を考察する。	○	○	○
		第10章 幕藩体制の動揺				
		1 幕政の改革	①農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩がおこなった諸改革の意義とその影響を考察する。 ②幕府や藩の支配に対しておこなわれた百姓一揆や、都市の打ちこわしの実態について理解する。	○	○	○
		2 宝暦・天明期の文化	①江戸中期に確立した洋学や国学、新たなかたちで展開する文学・芸能・美術について、社会の変容にともなう幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。 ②幕府や藩による武士の教育に加え、民間でも私塾や寺子屋が開かれた背景について理解する。	○	○	○
			【第5回考査】			
		3 幕府の衰退と近代への道	①欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解する。 ②近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、雄藩の浮上という地方からの視点から考察する。	○	○	○
		4 化政文化	①化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 ②都市の民衆を中心とする芸能などが盛んになったことを理解する。	○	○	○

1 この科目の構成について

教科	地理歴史科	科目	歴史演習	単位	1	単位
対象コース	進学	コース	対象クラス	2 年	2・3 文系 組	
使用教科書	日本史探究『詳説日本史』（山川出版社）					
使用副教材	二高の日本史（本校教材）、最新日本史図表（第一学習社）					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
学習内容：この科目で学習する大まかな内容 ①原始・古代史は、日本の歴史が主に中国・朝鮮との政治的・文化的関係を通して形成されてきたことを学びます。 ②中世史・近世史は、平安末期に誕生した在地領主制が、やがて集権的な織豊政権・徳川政権（幕藩領主制）へと変化していったことを学びます。 ③近代史は、後発資本主義国としての日本が歩んだ歴史を、対外戦争や議会政治、産業革命などと関連させて学びます。 ④現代史は、戦後の冷戦下で、アメリカの国際的な戦略のなかに位置づけられた日本の歴史を、政党政治や国民の民主化運動、高度経済成長などを中心に学びます。
学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 1) 授業用テキストに歴史用語を書き込み、頻出重要文章に正確にマーカーや書き込みをすることが必要です。 2) その授業で説明された歴史用語や頻出重要文章を確実に理解するとともに、授業の流れを把握することも必要です。 3) 大学共通テストだけでなく、難関私立大学で出題されるレベルの語句にも触れるため、重要語句の整理と深い理解が必要です。 (2) 家庭 1) 予習として授業用テキストを読み、頻出重要語句にマーカーをする。 2) 授業で教わった内容の復習を欠かさず行う（授業用テキストを見直す。教科書へのマークなど） 3) 考査前等に出される課題をしっかりと取り組み、提出する。

3 この科目の評価方法について

評価の観点：何を使って評価するのか (1) 知識・技能 ①定期考査：年5回の定期考査。 ②授業への取り組み：授業態度や指名されたときの発言内容など。 ③提出物：振り返りシートや小テストの内容など (2) 思考・判断・表現 ①定期考査：年5回の定期考査。 ②授業への取り組み：授業態度や指名されたときの発言内容など。 ③提出物：振り返りシートや小テストの内容など (3) 主体的に学習に取り組む態度 ①授業への取り組み：授業態度や指名されたときの発言内容など。 ②提出物：振り返りシートや小テストの内容など。
--

4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	5	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり 歴史資料と原始・古代の展望 ①古代社会と海外との交流 	①中国の歴史書の記事をもとに、日本列島の倭の小国やヤマト政権（倭国）と中国・朝鮮半島の諸国との交流について、多面的・多角的に考察する。 ②古代の対外交流がヤマト政権や律令国家の展開に向かってどのように変化していったか、仮説を表現して展望する。				
		②木簡から古代国家を探る	①遺跡から出土した木簡の記載内容をもとに、文書主義を特徴とする律令制のもとで人・物・情報がどのように移動していたのか、多面的・多角的に考察する。 ②古代の中央・地方をめぐる物流や地方における文字文化の広がりについて、仮説を表現して展望する。				
1	7	第Ⅱ部 中世 第5章 院政と武士の躍進 2 院政と平氏政権 歴史資料と中世の展望 絵画から中世社会を探る	①政治や文化の中心であった中世の京都を描いた絵画作品から、情報を収集して読み取る技能を身につける。 ②資料から適切に読み取った情報をもとに、中世の特色についての仮説を表現して展望する。				
2	9	第Ⅳ部 近代・現代 第11章 2 幕府の滅亡と新政府の発足 歴史資料と近代・現代の展望 ①五箇条の誓文と国是 	①五箇条の誓文のあつかわれ方について、諸資料から適切に読み取った情報をもとに、近代日本の近代・現代における輸出入品の推移から、 ②諸資料から適切に読み取った情報をもとに、近現代の日本の産業の在り方や課題について仮説を表現して展望する。				
		②貿易の変遷からみる日本の近代・現代					
3	3	第18章 2 冷戦の終結と日本社会の変容 現代日本の課題の探究 様々な災害と日本 	①災害を題材に、諸資料から情報を読み取って考察し、それを表現する方法を学ぶ。 ②事例を参考に、自ら適切な主題を設定して歴史を表現する。				